

なめりかわ 市議会だより

◆令和4年12月定例会

○令和4年度一般会計補正予算(第4号)(7億6,116万9千円)

ほか人事案件を含む市長提出議案16議案を可決または同意

○議員提出議案「『要介護1・2』の生活援助等を引き続き介護保険給付として維持することを求める意見書」を可決

○陳情「犯罪被害者等支援条例の制定について」を採択

12月定例会

本会議

◇12月5日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、選挙管理委員及び補充員の選挙を行いました。

その後、予算及び条例等の市長提出議案13件が一括上程され、提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

再開後、市長より追加提案された議案第62号について、提案理由の説明があり、全体委員会での補足説明、質疑の後に先議することとし、総務文教消防委員会に付託を行いました。総務文教消防委員長から審査結果の報告の後、採決され、賛成多数で可決されました。

◇12日、13日は代表質問及び一般質問が行われ、11名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託し、陳情第1号を産業厚生建設委員会へ付託しました。

◇最終日の19日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

次に陳情第1号について採決され、産業厚生建設委員長の報告のとおり賛成全員で採択となりました。

続いて、市長より追加提案された議案第63号について、提案理由の説明があり、全体委員会での補足説明、質疑の後に総務文教消防委員会に付託を行いました。総務文教消防委員長から審査結果の報告の後、採決され、賛成全員で可決されました。

続いて、市長から人事案件として、滑川市公平委員会の委員に尾嶋昌美氏(高月町)の選任が追加提案され、同意といたしました。

その後、議員提出議案1件の提案理由説明の後、採決を行い、「『要介護1・2』の生活援助等を引き続き介護保険給付として維持することを求める意見書」を賛成全員で可決しました。

最後に閉会中の継続審査を議決して、12月定例会を閉会といたしました。

常任委員会での審査 (主な質疑等)

各常任委員会等への付託案件はP14をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された8議案は慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和4年度滑川市一般会計補正予算(第4号)について

問 教育センター運営費にある学校教育安全メールシステム導入等について、4月から利用可能となるのか。また、そのシステムの概要は。

答 今年度中に構築し、令和5年4月から利用開始したいと考えている。保護者への案内などファイルが添付可能で、アンケート機能やメールの誤送信等防止機能、IDやパスワードを設定しセキュリティ対策ができるシステムとしている。また、保護者からの出欠や遅刻届等に関しては、

アプリを活用し、スマートフォン等からの報告が可能となる。

☆滑川市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

問 職員定数の増員は、10年後を見据えたものか。

答 増員の人数は、現状の事務や今後の新規事業、制度改正による事務事業を含めて検討したもので、10年後となる前に定数に達することもあり得る。

問 職員の一人当たりの業務の負荷が大きいのではないのか。事務内容等の見直しや外部委託の検討もやっていくべきではないか。

答 一部実施している事業もあるが、今後も外部委託や指定管理者制度も含めて検討していくこととしている。

産業厚生建設委員会

付託された8議案については、慎重審査の結果、賛成多数で原案のと

おり可決すべきものと決定いたしました。

なお、議案第60号については、指定管理内定者を参考人として招致し、質疑を行いました。

その後の委員間協議の中で、「指定管理内定者の提案を尊重したいという当局の考えは理解できるが、2階の無料学習スペースは、議会が当初から提案していた内容であり、再考を求めたい。」という意見が複数の委員からあり、委員会として

「議案第60号については、中滑川複合施設が公的施設であることを鑑み、市民の平等利用について一層の配慮を求められたい」という意見を付帯しました。

また、陳情第1号については、賛成多数で採択すべきものであると決定いたしました。

☆滑川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

問 バーベキュー施設の利用が1日単位となっているが、キャンプ場利用者が1泊して使用する場合、2日

分の料金が発生することにならないか。

答 他の市内の都市公園と同様に、指定管理者からそのあたりの営業時間や料金について提案があれば、柔軟に対応したい。



滑川海浜公園（整備中）



☆中滑川複合施設の指定管理者の指定について

問 施設2階部分に無料の学習スペースを確保できないか。

答 （水野市長）公民連携として初めてのケースとなる。覚悟を決めて手を挙げた法人がいる以上、その提案内容を尊重し、後押ししていきたい。
答 （柿沢副市長）今後、運営協議会を設置し、運営報告や利用者の要望・提案を取り入れていく中で連携してより良いものにすることは誠実に約束する。



中滑川複合施設（メリカ）

第3回臨時会

◇10月14日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、議長選挙を行い、投票の結果、尾崎照雄議員が議長に当選しました。

一旦、本会議を閉じ、再開後副議長の選挙を行い、指名推薦で中川勲議員が副議長に当選しました。

新議長の選出に伴い、富山地区広域圏事務組合議会議員・富山県東部消防組合議会議員の補欠選挙を行いました。

また、広報広聴委員会で委員長に古沢利之委員、副委員長に開田晃江委員が選出された旨の報告がありました。

その後、議員提出議案1件の提案理由説明の後、採決を行い、「議員としての政治倫理及び法令の遵守を表明する決議」を賛成全員で可決し、第3回臨時会を閉会といたしました。



第4回臨時会

◇10月26日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、新型コロナウイルス感染症対策関係の予算及びその他の市長提出議案2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を開き、各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

議案は一括して採決され、各常任委員長長の報告のとおり、賛成全員で可決し、第4回臨時会を閉会といたしました。

日誌

4年11月

- 1日 茨城県下妻市より行政視察
- 2日 富山県東部消防組合議会臨時会議員協議会・全員協議会

本会議(魚津市)

4日 議会報告会

7～9日 (高校生との意見交換会) 姉妹都市表敬訪問

(栃木県那須塩原市・長野県小諸市)

10日 定例議員協議会

14日 全国市議会議長会

15日 社会文教委員会(東京都)

16日 朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会要望

(新潟県・東京都)

17～18日 兵庫県朝来市より行政視察

富山県東部消防組合議会

行政視察(岐阜県下呂市)

25日 産業厚生建設委員会協議会

28日 議会運営委員会

12月 1日 総務文教消防委員会協議会

定例議員協議会

議会運営委員会

19日 12月定例会

情報技術調査特別委員会

協議会

23日 議会報編集委員会

富山県東部消防組合議会臨時会議員協議会・全員協議会

26日 産業厚生建設委員会協議会

本会議(魚津市)

5年1月

10日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

議会報編集委員会

広報広聴委員会

18日 岡山県笠岡市より行政視察

議会報編集委員会

富山県市議会議長会

市議会議員研修会

代表質問

12月定例会では11名の議員が質問を行い、43項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。)

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問



1 中滑川複合施設

指定管理のあり方について
観光振興について
中学校部活動における
土日の地域移行について

(会派＝志真会) 竹原 正人 議員



Q 指定管理者の選定に関して、実際の応札が1者のみであった。比較対象のない状態でプレゼン資料(事業計画書)だけで選考するのは拙速と考えるが、見解を伺う。

A 水野市長 これまでの市が管理する施設と異なり、行政と民間が適切な役割分担、情報交換を行い、かつ、民間の創意工夫等を活用した管理運営を行う公民連携方式を取り入れる初めての施設である。市は、これまでも指定管理の施設において、1団体からの応募であっても選考委員会で審査した上で議会の議決を経てきたことから、今回、1団体からの応募であったことはあくまで結果論であり、指定管理者の募集要項を公表した時点で多くの事業者から提案いただける環境は整えてあり、競争性は確保されている。

Q 空きテナント等の対応をどのように考えているのか。

A 水野市長 運営管理を担う指定管理者の調整によって、来年春の全館オープンまでの間に全てのテナントが埋まり、さらなるにぎわいが創出されることを期待するとともに、必要な支援を行いたい。

Q 新型コロナウイルス感染症による来日制限がなくなったが、外国人観光客誘致に対する今後の市の取組について伺う。

A 黒川産業民生部長 当面の間、影響が続くものと予想されることから、感染状況や水際対策の状況、入国者数を注視しながら、県や周辺自治体との連携を図り、外国人観光客誘致へ向けた取組を実施していきたい。

Q 現在、滑川中学校バトミントン部がモデルとなり、部活動の地域移行に取り組んでいるが、現状を踏まえ、今後どのようにすべきと考えているのか。

A 上田教育委員会事務局長 滑川市バトミントン協会の協力により、6名の指導者を確保、派遣していただき充実した活動を行っている。そのほかの競技については、部活動指導員等を増員し、休日の指導を地域へ移行するための体制を整備していく。

その他の質問事項

・滑川海浜公園キャンプ場の管理運営について

・軽自動車税の納税証明書の取り扱いについて

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



1 市制70周年

となる来年に向けて
教育について

(会派＝会派自民) 岩城 晶巳 議員



Q 市長は去年の2月23日市長に就任されたが、令和4年度の予算編成は時間的な制約があったことから、来年度の予算編成は初めて自前の予算編成となるが、その方針を示し願う。

A 水野市長 市民生活を守るために、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策を引き続き実施していくとともに、新規重点事業として新たに特別枠を3つ設け、積極的に事業を推進する。1つ目は、マニフェストに掲げた30の政策と102の施策の実現に向けた未来への投資枠、2つ目がデジタル技術やAI等の活用による行政サービスのさらなる業務効率化や新たな価値の創出に向けたDX活用枠、3つ目は来年度の市制70周年枠、この3つを設け予算編成に取り組んでいる。本市を次の世代へ継承していくため、市民本位の視線で「強く優しく輝く滑川」の実現に向け、着実に前進する予算編成となるよう取り組んでいきたい。

Q 南砺市は、来年の4月1日より希望の小学校、中学校を選択できる特認校制度をスタートする。滑川市という異なる条件が異なるが、

当市でも住宅団地が造成されて通学区域の矛盾が生じており、近い学校へ行きたいという陳情が以前より出ている。南砺市の特認校制度についての見解は。

A 上田教育長 本市においては、東加積小学校を小規模特認校として令和3年度より市内全域から通学を認めている。滑川市の学校数、校区の広さ、児童・生徒数を考えると、市内全ての学校での特認校制度の実施は現実的ではないと考えている。これまでも通学区域の確認や変更要望を出されることはあった。市教育委員会はそれに対し、地域のつながりや変化している住宅事情や道路事情などを考慮して、滑川市小中学校通学区域審議会に諮問。その結果が答申として提出され、市教育委員会が検討、決定するものである。審議会は来年度に開催を予定しており、地域の状況等を踏まえて検討していく。

その他の質問事項

・よりよい市民生活を目指して

・コロナ感染症について

・県警の小規模署再編について

一般質問



4 3 2 1

スポーツ・健康の森公園陸上競技場の
姉妹都市交流の充実について
管理運営について
学校施設環境整備について
市民生活支援について

開田 晃江 議員



Q 先日、芝生広場で、他市の高校生がやり投げの練習をしていたが、投てき場は別に設置されている。自由に利用できる芝生広場が非常に危険な状態になっているのではないか。

A 野末スポーツ課長

今後、やり投げを含めた投てき競技の練習場所やルールについて、利用者や利用団体と協議を行い、より一層の安全確保に努めたい。

Q 適正利用のため利用制限を設け、使用料を徴収することはできないか。

A 野末スポーツ課長

スポーツ・健康の森公園は、健康増進や競技力向上の拠点施設として位置づけられていることから、現在の利用方法や使用料金が適当であると考

Q 他市の高校生がバスで25人程度来て練習していたが、利用料金の徴収の対象になるのか。

A 野末スポーツ課長

その際には利用料金は徴収していない。

Q 本市は那須塩原市や小諸市などと姉妹都市提携しているが、物産品の交流も考えるべきではないか。海のない那須塩原市や小諸市では、

是非滑川のホタルイカや魚を販売させてもらいたいと言っていたがどのように考えるか。

A 黒川産業民生部長

姉妹都市間の特産品販売が進んでいくことは良いことだと考える。一つ一つ課題を捉え、前向きに検討していければと考えている。

Q 滑川中学校隣接の駐車場は砂利舗装になっているが、アスファルト舗装にできないか。

A 椎名学務課長

市道沿いの駐車場は、生徒の送り迎えや一部職員駐車場としても使用されている。利用者の利便性や冬季期間の除雪作業の効率等も含め、今後のアスファルト舗装については、計画的に進め、検討しているところである。

Q 燃料購入助成券を一世帯5千円分支給するとあるが、いつ頃になるのか。

A 好田監査委員事務局長

燃料購入助成券の発送は、1月中旬から下旬の予定で、市から世帯主宛てに直接郵送する。取扱期限は2月末としており、確実に使用していただくよう周知に努める。

一般質問



3 2 1

小、中学生の議会見学、傍聴について
農業の振興について
生活支援について

原 明 議員



Q 9月定例会での代表質問を傍聴、見学した寺家小学校の6年生の感想文を読んだが、教育委員会の感想は。

A 椎名学務課長

子どもたちにとって、議会と市がよりよい滑川市になるよう真剣に話し合い、力を合わせていく様子を学ぶよい機会となったと考えている。滑川の未来を担う子どもたちが、政治や社会に関心を持ち、市の施策について自分ごととして捉えるなど、主権者教育の一環としても有意義であったと考えている。

Q 議会の見学、傍聴を全ての小学校、中学校で実施してはどうか。

A 椎名学務課長

議会見学については、大変有意義であり、今後進めていきたいと考えているが、

市議会を見学、傍聴できる人数には限りがあり、リモートやケーブルテレビの視聴なども含め、学校の実情に合わせて議会を見たり知

つたりする機会を設け、児童、生徒の主権者教育を進めていきたい。

Q 農業の持続は、意欲ある担い手の養成が重要である。富山県では農業の担い手育成のための研修機関として、とやま農業未来カレッ

ジが開設されているが、このカレッジで研修し、滑川市で就農した人は、何人いるのか。

A 石井農林課長

本市において、とやま農業未来カレッジを卒業し就農した農業者は1名であると把握している。

Q 物価高騰を受けた生活支援として、東京都は、住民税均等割の非課税世帯を対象に、お米クーポンを配っており、米だけの場合は、1世帯当たり25キロ、また大阪府は、子育て世帯への支援策として、18歳以下の子ども1人当たり米10キロを配るとしている。滑川市でも低所得世帯やひとり親家庭、子育て世帯への生活支援策として、米・野菜の配布は考えられないか。

A 上田教育委員会事務局長

市では、住民税非課税世帯に1世帯当たり5万円を給付し、ひとり親世帯及び子育て世帯へ児童1人当たり5万円を給付する事業も継続実施している。現在のところ、米、野菜の現物支給については考えていない。

その他の質問事項

・ 市民会議の開催について

一般質問



1 いじめ・不登校・ 2 学校給食について 保育園虐待問題について

谷崎 潤一 議員



Q 富山市内中学校におけるいじめ問題に対して、滑川市教育委員会の考えを問う。

A 椎名学務課長

1人のかけがえのない大切な命が失われたことについて、教育に携わる者として、大変胸が痛む思いである。児童・生徒の自殺を防ぐためには、普段から学校や家庭、地域においての対応や連携が重要であり、特に、児童・生徒にとって生活環境が大きく変わるときや、大きなプレッシャーや精神的動揺が生じやすいと考えられるときには、周りが少しの変化を把握できるようにしていくこと、また、普段から声をかけを行い、話をいつでも聞くよというメッセージを伝えていくことが大切だと考えている。児童・生徒が今後起こり得る危機的状况に対応するため、身近に信頼できる大人にSOSを出せることができるようにすること、大人がそれを受け止め、支援できるようにすることを目的とした、SOSの出し方に関する教育を推進したい。

Q 滑川市のいじめ・不登校件数は正確なのか問う。

A 椎名学務課長

各学校から市教

育センターを通して学期ごとのいじめ件数が報告され、確認している。この報告だけではなく、常に学校から子供たちの様子について報告が上がっていることがあり、相談も受けている。また、いじめ事案に限らず、児童・生徒のトラブル等があった場合にも市教育委員会や市教育センターに相談があり解決に向けて連携してすすめている。人間関係といじめというのは密接に絡み合っているため、学校でしっかりと判断しながら報告してもらっている。

Q 小中学校の黙食はいつまで続けていく予定なのか。

A 椎名学務課長

文部科学省からの、給食時の適切な対策での会話可という通知については把握している。現在の県内の新型コロナウィルス感染状況においては今すぐ黙食をやめることはできないと考えているが、感染状況や国や県の指標を注視しつつ対応する。

その他の質問事項

・G7 富山・金沢教育大臣会合について

一般質問



4 3 2 1 コミュニケーションバス事業について 小児科診療について 高齢者支援について 放課後児童クラブについて

安達 真隆 議員



Q コミュニティバスについて、毎年修理費用がかかるのであれば導入経費の少ない小型バスなどを検討していくべきでないか。

A 相沢生活環境課長

他自治体における導入事例を参考とするため、車両の整備や運行状況の視察をはじめ、運行ルートや便ごとの乗車実績の分析結果を基に、小型車両の導入可能ルートや乗りこぼしが発生した場合の対策など、引き続き小型化車両の導入に向け検討を進めていきたいと考える。

Q 厚生連滑川病院小児科の水曜日半日診療は、令和5年3月末で期限を迎えるが、引き続き要望するのか。

A 伊井市民課長

今年8月から金曜日に加え、水曜日の午前中に診療を行っている。市内の小児科診療は通常診療に加え、発熱外来、ワクチン接種、健診業務などにより逼迫している状況にあり、厚生連滑川病院には来年度においても週2日の小児科診療の継続、さらなる診療日数の増について要望を続けている。次代を担う子どもたちの健全な育成のため医療環境の整備は不可欠であり、医療体制の

充実について働きかける。

Q 滑川市には元気に自分で出歩ける方の高齢者支援サービスが少ないと思うが、現在どのような支援を行っているか。

A 梅原福祉介護課主幹

地域住民が主体的に行う通いの場の活動に対する補助として、1回限り5万円まで、カラオケやマージャン機器の購入にも利用できる滑川市地域を支え合い活動推進事業というものを行っている。意見交換会を開催し、年間20回以上の活動を5年以上続ける必要があるが、こちらの活用を検討していただきたい。

Q 東部小学校、西部小学校では放課後児童クラブの専用施設が整備されているが、それ以外の地区についてどのように考えているか。

A 上田教育委員会事務局長

国は、令和5年より学校の空き教室の活用も検討するよう方針を示しており、寺家小学校、東加積小学校、南部小学校については、学校の空き教室の活用を検討している。児童が学校から安全に通所できるように、環境が整った放課後児童クラブから順次移転を進めたい。

一般質問



3 2 1

新生児聴覚検査について
認知症による事故対策について
公営住宅入居時の保証人について



古沢利之 議員

Q 先天性難聴の赤ちゃんが生まれる割合は1000人に1人から2人といわれている。近年はスクリーニング検査機器で新生児に検査することで、早期に見つかる確率が非常に高くなった。本市での検査の実施状況はどうか。

A 結城市民健康センター所長 新生児聴覚検査は、聴覚障がいを早期に発見し、適切な支援で影響を最小限に抑えられることから、富山県では平成17年から体制整備が行われている。県内全ての産科医療機関で初回検査が実施されており、令和3年度の本市の受検者は236人、受検率は96・3%で、精密検査が必要とされた方は1名である。

Q 検査費用について、県内で自治体の助成を実施していないのは本市を含めて3自治体のみである。早急に実施すべきでないか。

A 結城市民健康センター所長 すべての新生児が受検できるように、初回検査費用の一部助成を来年度から実施できる準備を進めている。

Q 認知症患者の増加に伴って、行方不明等の事案も増えており、「SOSネットワーク」がつくられている。本市ホームページでは心配のある高齢者の事前登録や、保護

に協力してもらえらる協力団体を募集している。登録状況等はどうか。

A 梅原福祉介護課主幹 「滑川市徘徊SOSネットワーク」を平成24年度から実施している。令和4年11月末現在、協力団体は78事業所で、徘徊の可能性がある認知症高齢者の登録者は39名である。

Q 認知症高齢者が事故などで損害を与え、家族などが賠償を請求されることがある。公費で被害者に損害を賠償する損害賠償保険に加入する自治体が増えているが、本市でも導入を図るべきではないか。

A 梅原福祉介護課主幹 介護者が在宅介護を安心して継続していく上で、自治体による賠償保険加入は有効な手段と考える。来年度からの実施に向け準備を進めている。

Q 国土交通省は平成30年に公営住宅の入居に保証人の確保を前提にするのを転換すべきとした。本市の住宅条例を見直す考えはないか。

A 数岸空家等居住対策課長 令和3年4月に保証人を2人から1人に要件を緩和しており、現時点で保証人規定を削除することは考えていない。現行条例でも特別な事情がある場合は、保証人を立てない取扱いも認められている。

一般質問



4 3 2 1

森林整備について
子どもたちの学習環境について
過去に質問した項目について
観光発展について

青山幸生 議員

Q 令和元年度から森林環境譲与税の基金の積立てが始まり、各市町村が使い道に悩んでいる状況である。また令和6年度からは個人住民税均等割と併せて徴収されることから、滑川市はどのような施策をやっていたのか聞かれることになると思う。今年度の森林経営管理事業の実績は。

A 石井農林課長 経営管理権集積計画を作成し、森林所有者の同意を得た上で、水源涵養や災害防止などの公益的機能を維持し、その機能を発揮させるために必要な森林整備を行うこととしている。今年度は、大日地区での森林整備及び小森地区での意向調査、経営管理権集積計画の作成を行っている。

Q 豊かな森の形成を次世代に残すための施策を市町村でやっていくべきである。杉やヒノキばかりではなく、ケヤキ、栗、キリ等の広葉樹を植えて、バランスのいい森づくりを大日、養輪にできないか。

A 水野市長 森林環境の税金が令和6年度からということとそれをどう使うか、広葉樹の植林も含めて前向きに検討したい。

Q 寺家小学校の机のサイズが適正ではないと聞いている。高学年に天板の幅と奥行きが足りていない

ものを使わせていることは問題かと思うが、充足する方法を考えているか。

A 上田教育長 今現在、教室のサイズと天板のサイズが合わないところがある。机と机の間を開けましようということもあり、少し大きいものを入れるのはどうかと考えている。

Q 3月定例会では、スポーツメーカーミズノと山形県朝日町がパートナーシップを組んだ事例を紹介し、本市も様々なスポーツメーカー等とパートナーシップを締結してみてもどうかと提案した。今後の方向性は。

A 水野市長 スポーツメーカー等とのパートナーシップについては、当時も発言したが、もちろん前向きに考えている。言い訳になるかもしれないが、地域医療の問題、小児科等の問題等々を優先して動いていた。今後、自ら動くつもりである。

Q タラソピアの今後の方向性はどうか。

A 水野市長 海洋深層水は大事な地域資源である。水産分野も含めて、非水産分野の使い方として、どういった手法があるのかを含め、あと3か月真剣に考えていく。

一般質問



- 1 職員の定数について
- 2 市民の安全について
- 3 空き家対策について

高川 正樹 議員



Q 職員定数条例改正において、職員の定数を増員しているが、この定数を妥当と考えているか伺う。

A 櫻井総務課長 定年延長制度の施行に伴い、2年に一度、定年退職者が発生しないことから定数において影響が生じることや、質の高い行政サービスを安定的に提供できる体制を維持するためには一定の新規採用の継続が必要なこと等を考慮した結果、職員数の増員はやむを得ないものと考えている。

Q 平成23年に義務化された住宅用火災警報器について、耐用年数的にも交換の目安となる10年を経過しているものが多くなっている。警報器の交換の必要性について、市民への周知はどのように行っているか伺う。

A 前野消防署長 住宅用火災警報器は、火災時における被害の軽減及び人的被害の抑制に効果があることから、設置、維持管理は常に重要であると考えており、定期的に市広報紙への掲載や折り込みチラシを入れるなど警報器の交換時期をPRしている。また自主防災訓練時や火災予防週間における防火訪問でのPR、県下一斉の住宅

用火災警報器設置促進キャンペーンを実施しており、今後も警報器の交換時期について周知する。

Q 空き家対策の新たな取組について、6月補正で予算付けしたが、これまでの取組について伺う。

A 数岸空家等居住対策課長 空き家の有効活用については、県外4組のテレワーク従事者等に、空き家や定住促進住宅に一定期間滞在いただき、県外在住者の目線で、市の魅力や課題を発見してもらう取組を行っており、年度末にはオンラインでの発表会を開催する。情報発信については、空き家バンクの周知を一層図るとともに、空き家をリノベーションして開業した店舗などの活用事例を効果的に伝えるため、YouTubeとTwitterアップした動画を制作し、市の空き家バンクサイト及びYouTubeのチャンネルで現在公開している。空き家の解消を促す取組については、空き家が建っている隣の土地を統合するために今般新設した補助制度の活用実績が現時点で1件あり、年度内には長年放置されていた空き家が解体される見込みである。

一般質問



- 1 社会環境の整備について
- 2 健康寿命延伸都市の実現について
- 3 国民保護計画に基づく防災について

水橋 真治 議員



Q 市民生活支援のための燃料購入助成券は、今後も継続して配付する予定はあるのか。

A 好田監査委員事務局長 現時点では考えていないが、今後の国などの動向を注視しながら対応したいと考えている。

Q 来年四月から電気料金が大幅に値上げされるかもしれない。市民生活の経済的負担がさらに増大するかもしれないが、対策等は考えているか。

A 長崎財政課長 国や県の支援状況を見極めながら、経済的な影響を受ける市民や事業者に寄り添い、迅速にきめ細かく必要な対策を実施したいと考えている。

Q コロナ禍での行動制限は、健康寿命にどのような影響を与えたと思われるか。

A 結城市民健康センター所長 診療や健康診断の受診控え及び介護サービス利用の制限により、早期治療につなげることや、デイサービス等の利用による身体機能の維持に、少なからず支障が生じたと考えている。また、各種行事の中止で、人との交流の減少などによる健康への影響も懸念されるところである。

Q 健康寿命延伸のための今後の対策について伺う。

A 結城市民健康センター所長 引き続き健康診断の受診率の向上に努めていきたい。また、なめりかわ生涯いきいき食育推進計画に基づいた全世代への食育事業に引き続き取り組んでいく。心の健康づくりにつながる憩いの場の開設についても取組を推進していく。

Q 北朝鮮のミサイルが本市またはその周辺に影響を与えることや、Jアラートが発出された際の避難場所等は十分に検討しているか。

A 櫻井総務課長 市が責務を有する武力攻撃事態等への対処の基本について、滑川市国民保護計画を定めている。避難施設については、国民保護法に基づき、県知事が施設管理者の同意を得た上で指定を行っている。

Q 台湾で仕事をしている市民や企業に対して、台湾有事の危険性を広報する予定はあるか。

A 櫻井総務課長 市独自での広報は予定していないが、国や県、関係機関と情報共有に努めていきたいと考えている。

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

一般質問



・通学区域について

大浦 豊 貴 議員



Q 平成8年に行政改革委員会の規制緩和の推進に関する意見において保護者の意向に対する十分な配慮や選択機会拡大の重要性、学校選択の弾力化へ向けた取組等に提言があり、平成9年に通学区域制度の弾力的な運用について、文科省より通知されたところである。本市では、保護者または町内会等の地域要望に対し格差はないか。

A 椎名学務課長 市教育委員会では、通学区域の変更要望に対して幅広い意見を伺い検討できるように、地域、保護者等の代表がメンバーである審議会において審議され、その答申を受けて教育委員会において決定されるものである。

Q いつも頼りにしているのは、審議会だと発言されるが、町内会単位で学校区域を設定する原則に沿って審議会が協議されるのであれば、根本的な問題の解決策が議論されるものではないのではないのか。個人や地域の要望に応えるだけのものを協議していると答弁されるが、それが現在の審議会できているのか。

A 椎名学務課長

審議会が決定す

るのではなく、市教育委員会が決定している。学校教育に大変詳しい方、保護者や地域の意見、全てをよく分かっている方からご意見をいただいている。総合的に判断することも含め検討する会議である。

Q 地域社会がつくられてきた長い歴史的経緯、地域の実態を踏まえ、通学区域が決定されていることは、住民協力により守られてきたことは理解している。しかし、本市を選び新しく移ってきた人たちにとって、生活し子育てする中で、既存の規則や地域の枠組みを強く感じ、地域コミュニティから距離を取ろうとすることも考えられる。規則の見直しや、指定校通学の弾力的運用等、早急に要望する。

A 上田教育長 これまでも審議会を経て協議し、変更について行ってきた。すべての要望について行ってきたかといえば実際にはやっていない。まだ審議会の俎上(こじょう)にのっていないものや審議会を経て不可になったものもあるかと思う。今後については、新たな方法も考えながら前向きに検討していきたい。

姉妹都市表敬訪問

(11月7～9日)

市議会は、姉妹都市提携をしている那須塩原市議会・小諸市議会へ4年に1度表敬訪問して、交流を深めるなど、お互いの絆を大切にしています。

◆栃木県那須塩原市

(11月7日～8日訪問)

那須塩原市では、初日に議会におけるタブレットの運用について研修を受けました。

ペーパーレス化による経費削減や会議及び調査・研究活動の活性化、情報伝達の効率化を目的として、令和2年3月定例会で本格導入されており、会議システムやグループウェアを効率的に運用されているほか、各種会議を段階的にオンラインで行っているとのことでした。

議会改革度調査2021総合ランキングで全国19位のトップランナーから、直接様々な取組について学ぶことができました。

翌日は那須塩原市図書館「みる

る」、まちなか交流センター「くるる」の現地視察を行いました。



＜那須塩原市議会での研修＞

◆長野県小諸市

(11月8日～9日訪問)

小諸市でも、議会におけるタブレットの運用について研修を受けました。

小諸市議会では近年の台風被害、新型コロナウイルスの感染拡大という、庁舎に集まることが物理的にできなくなる事案の発生により、オンライン会議が喫緊の課題となりました。

その必要性から、令和3年4月にコロナ対応地方創成交付金を活用し、



＜小諸市庁舎前＞

当局と足並みを揃えてタブレットを導入され、オンライン会議をメインに使用されています。

以降、常任委員会ごとに練習を兼ね、令和4年12月定例会からはオンラインでの常任委員会の開催を目指しているとのことでした。

「まずはやってみる」「改めるべきところは改める」というスタンスで進めているとのこと、大変参考になりました。

滑川高校生との

意見交換会(11月4日)

※表紙写真

平成29年度から市民と自由な情報及び意見を交換する議会報告会を年1回開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2、3年度は中止としました。

今年度は、将来を担う高校生に議会や政治への関心を高め、また議員が高校生の夢や希望、課題等を認識するため、滑川高校生との意見交換会という形で開催しました。

出席者の自己紹介の後、グループで「もっと『なめりかわ』を売り出そう」「あなたの未来、まちの未来について考えよう」をテーマに滑川高校生6名と市議会議員(広報広聴委員会委員)6名を2つのグループに分け、意見や提案を出し合い、発表しました。

意見や感想

○「もっと『なめりかわ』を売り出そう」

・滑川市は海・山が近く、自然が豊かで景色がよいところであるので、もっとPRしてはどうか。

・地域おこしにキラリングルメの森や各種イベントを復活してほしい。また、新川古代神踊りも復活してはどうか。楽しみにしている。

・滑川高校吹奏楽部が全国高等学校総合文化祭東京大会でキラリン・ピッカとともに出場・演奏した際、かなり好印象だったので、これからもイベント等にはキラリン・ピッカを登場させたらどうか。

・部活動を頑張って全国大会等に出場したりしているので、もっと盛り上げたら、地域が盛り上がるのではないか。

○「あなたの未来、まちの未来について考えよう」

・市外で進学や就職を希望しているが、10年後には、ぜひとも親となり、仕事と親と両立したい。

・現在、夢に向かって勉強しているが、進学は県外を希望している。

・進学・就職は県内・県外などいろいろ希望しているが、いずれは県内で仕事や生活をしたい。

・買い物が不便なので、もっとコンビニや衣料品店など買い物できる場所・店があったらいいと思う。

・遊び場があまりないので、若者が集まる場が欲しいと思う。

○その他の感想

・自分たちの意見を議員に聞いてもらって良かった。

・市議会や議員について知る機会があまりないので、どんな仕事、どんなことをしているのか知りたいと思った。

第31回子どもサミット

11月22日(火)に第31回子どもサミットが議場で開催されました。

2年前より新型コロナウイルス感染症対策として子どもサミットに出席する来賓や見学者の人数を減らしており、その分広く多くの方に見てもらえるよう、ケーブルテレビの放送設備の整った議場を利用して開催されています。また子どもたちに議会の雰囲気味わってもらうことができます貴重な機会にもなっています。

子どもサミットに参加した市内小中学校の代表者19名は、事前研修会や滑川市立博物館での体験学習会を通して、夏休みから子どもサミットに向けた話し合いや準備を進めてきました。

その中で、今回のテーマを「くろうみんなが元気で輝くまち滑川」未来のために魅力的なまちづくりを」に決定しました。

そしてサミット当日、参加者は真剣な顔つきで議場に集まりました。

会議は、早月中学校2年加藤楓さんの進行のもと、南部小学校6年岩田知奈さんの開会の言葉で始まり、その後水野市長、尾崎議長からのあいさつがありました。



子どもサミットの様子



参加者の自己紹介の後、早月中学校2年大沢美結さんに司会者が交代し、「滑川市の伝統や文化財をどのように生かしていくか」、「各学校で行っている活動が、どのようなまちづくりに繋がっているか」、「誰にとっても魅力的なまちづくりを進めるために、自分たちにできることや大人のみなさんたちにお願いしたいことは何か」について、参加者は積極的に各学校での活動や自分の考えを発表したり、意見交換を行ったりしました。

最後に水野市長からサミットについての感想・講評があり、滑川中学校2年中嶋悠さんの閉会の言葉で会議は幕を閉じました。



閉会のことば
(滑川中2年 中嶋 悠さん)

サミットで出された意見

- ・滑川の伝統や貴重な文化財をみんなで守っていきながら、多くの人にその魅力を伝えていくことが大切。
- ・滑川の豊かな自然環境を守るため、ゴミのポイ捨てをなくすための声かけやポスターを掲示すればよい。
- ・学校で行っている「あいさつ運動」から、みんなが元気で活気のあるまちづくりに繋がりたい。

子どもサミット参加者

学校名	学年	児童・生徒氏名
寺家小	6	油谷 天成
寺家小	6	後藤 心菜
田中小	6	宮崎 愛俐
田中小	6	水野 虎太郎
東部小	6	中川 敢太
東部小	6	澤田 蒼延
北加積小	6	岩城 この葉
北加積小	6	竹原 結愛
東加積小	6	谷 広翔
東加積小	6	長瀬 紫音
南部小	6	岩田 知奈
南部小	6	金山 光哲
西部小	6	稲垣 伝太
西部小	6	ヴィーラコーン 鳳雅
滑川中	2	石吾 勇人
滑川中	2	中嶋 悠
早月中	2	加藤 楓
早月中	2	大沢 美結
早月中	2	太田 有香

陳情・要望書

件名及び提出者

處理結果

①陳情(3件)

- | | | |
|---|--------------------------------------|----------|
| 1 | 犯罪被害者等支援条例の制定について | 採択 |
| | 浦田 竹昭 | |
| 2 | 民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情書 | |
| | | 全議員へ参考配付 |
| | 岩城 宗寿 | |
| 3 | 次年度からの指定校通学へ弾力的な運用を求める陳情書 | 全議員へ参考配付 |
| | 水野 美月 | |

②意見書提出要請(1件)

- 1 「要介護1・2」の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行することについての意見書
 議会運営委員会一致
 公益社団法人 認知症の人と家族の会富山県支部 代表 堀井 隆子(議員提出議案第5号へ)

③要望書(3件)

- 1 滑川市議会から厚生労働省に潜在看護師を活用する意見書を提出することに関する陳情書
..... 全議員へ参考配付
社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」 代表 加藤 克助
- 2 「SOSネットワーク・損害賠償保険の全県一元化」に向けての要望 全議員へ参考配付
公益社団法人 認知症の人と家族の会富山県支部 代表 堀井 隆子
- 3 令和5年度滑川市行政施策に対する要望について 全議員へ参考配付
滑川商工会議所 会頭 星名 照彦

ポイント

★請願・陳情

請願とは、市民の方が市議会に対し意見や希望を述べることでできる制度で、手続きの際には紹介議員が必要となります。

提出された請願は、所管の常任委員会に付託し、その結果を本会議に報告し、議会として採択・不採択の採決をします。

陳情は請願と同様の内容ですが、手続きの際に紹介議員が不要です。滑川市議会では請願と同様の取り扱いをしています。

3月定例会が下記の日程で開催されます。
11日は土曜議会があります。
是非傍聴にお越しください！

日	時間	摘 要
3月2日(木)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
3日(金)	10時	補足説明
10日(金)	10時	代表、一般質問
11日(土)	10時	一般質問(土曜議会)
13日(月)	10時	予算特別委員会
14日(火)	10時	予算特別委員会
15日(水)	13時30分	予算特別委員会
16日(木)	10時	総務文教消防委員会
17日(金)	13時30分	産業厚生建設委員会
22日(水)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

議決結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議員提出議案第4号	議員としての政治倫理及び法令の遵守を表明する決議(第3回臨時会)	—	原案可決
議案第47号	令和4年度滑川市一般会計補正予算(第3号)(第4回臨時会)	総産	原案可決
議案第48号	第1坪川踏切拡幅工事に係る協定の変更について(第4回臨時会)	産	原案可決
議案第49号	令和4年度滑川市一般会計補正予算(第4号)	総産	原案可決
議案第50号	令和4年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第51号	令和4年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第52号	令和4年度滑川市水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第53号	令和4年度滑川市下水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第54号	滑川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第55号	滑川市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第56号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	総	原案可決
議案第57号	滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第58号	滑川市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第59号	滑川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第60号	中滑川複合施設の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第61号	フットボールセンター富山の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第62号	上告の提起及び上告受理の申立てについて	総	原案可決
議案第63号	令和4年度滑川市一般会計補正予算(第5号)	総	原案可決
議案第64号	滑川市公平委員会の委員の選任について	—	原案同意
議員提出議案第5号	「要介護1・2」の生活援助等を引き続き介護保険給付として維持することを求める意見書	—	原案可決
陳情第1号	犯罪被害者等支援条例の制定について	産	採択

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

賛否一覧表

第3回臨時会、第4回臨時会、12月定例会は全員賛成だったため賛否一覧表は掲載しません。※議案62号の採決時のみ青山議員欠席

議会報編集委員会から

今年もよろしくお願いいたします。

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2120

(直通)

【議会報編集委員】

岩城晶巳委員長

高川正樹副委員長

安達真隆委員

水橋真治委員

大浦豊貴委員

竹原正人委員

原明委員

下記のQRコードから
YouTube滑川市議会
チャンネルにアクセス
できます。

